



切り拓く未来

奈良先端科学技術大学院大学の 多彩な特長

○多様な学生の受け入れ

幅広い分野・立場の方が本学で研究できるような入試・カリキュラムを実施しています。

- 試験は面接で実施。筆記試験はありません。面接の際は出身専攻分野を考慮します。
- 入学試験は年3回実施。
- 多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム編成(「基礎科目」や「概論」等、幅広い講義・ゼミナール・課題研究)
- 弾力的なカリキュラムの運用(複数教員指導制、他大学との単位互換制、研究指導委託、 Semester 制の導入)

○修業年限の弾力化

博士前期(修士)課程は2年、博士後期(博士)課程は3年の標準修業年限ですが、修学年限の弾力化を図るため、優れた研究実績を修めた者は、博士前期(修士)課程は1年以上の在学で、博士後期(博士)課程は博士前期(修士)課程と合わせて3年以上の在学で短期修了することができます。

○教員の流動性と多様化

広く公募等により、大学及び民間の研究所等において、先端的な研究実績のある優秀な若手研究者を教員として採用しています。

○国際交流・協力の推進

外国人研究者との共同研究の実施、国際シンポジウムの開催など、先端科学技術分野の研究者等との国際交流を積極的に実施しています。また、留学生を積極的に受け入れ、国際的な人材養成にも協力しています。

○産官学連携の積極的推進

大学の持つ知的財産(成果、技術、情報等)を社会に還元するため、産官学交流や学際的交流を活発に行い、大学と産業界及び地域社会との連携を図っています。また、地域の方々に最新の研究・教育を理解してもらうため、活発な地域交流を行っています。